



# 公募

2019年度

## 和歌山県 データ活用研究

### ◇研究課題

- ①和歌山県内の薬剤師及び薬局の現状と今後10年先までの将来動向
- ②和歌山県における地域経済ハザードマップの開発

◇研究費：上限200万円

◇研究期間：最大3ヶ年度まで選択可

### 応募期限

参加表明書

**5月10日(金)**

研究提案書

**5月17日(金)**

**必着**

### 詳細・申請様式等

和歌山県データ活用推進  
ホームページをご覧ください。  
URL：<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/data/index.html>



和歌山県は、エビデンスに基づく行政を推進するとともに、全国にデータ活用の重要性・有用性を発信するため、2017年度より「和歌山県データを利活用した公募型研究」を実施しています。

### 【お問い合わせ先】

和歌山県データ活用推進センター

電話：073-488-2430 e-mail：[e0201001@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0201001@pref.wakayama.lg.jp)

# 2019年度和歌山県データを利活用した公募型研究事業の概要

## I 研究内容

県が設定する研究課題について関係するデータを収集・分析し、問題が生じている要因の分析や課題解決に資する効果的な施策の提案等に関する研究を行う。

### 【研究課題①】和歌山県内の薬剤師及び薬局の現状と今後10年先までの将来動向

県内の薬局・保健医療機関等に関するデータや薬局等へのヒアリングを基に県内の薬剤師・薬局の高齢化等の現状と今後の将来動向を調査・分析するとともに、その結果を踏まえ、地域の薬局が地域包括ケアシステムの一翼を担っていくための関わり方を提案する。

### 【研究課題②】和歌山県における地域経済ハザードマップの開発

工業統計や産業連関表、民間データ等を用いて県内製造業のサプライチェーンを分析し、経済活動上の重要度を数値化・可視化するとともに、自然災害のハザードマップと対応させ、地域経済ハザードマップを作成する。

また、特に重要かつリスクの高い事業所について、県内外の取引先を含めたサプライチェーンマップを作成する。

【研究費】 上限200万円

【研究期間（履行期限）】 2019年7月頃～  
（最長2021年度末まで）

## II 研究者の資格要件

単独又は複数の研究者による応募が可能。ただし、全ての研究者は、調査・研究の実績があり、以下に掲げるいずれかの機関に所属している学術研究者等であること。

- ア 学校教育法に基づく大学及び高等専門学校並びに同附属試験研究機関等
- イ 民間企業の研究開発部門、研究所等
- ウ 研究を主な事業目的としている一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人及び公益財団法人

## III 委託方法

県は研究代表者が所属する機関と委託契約を締結する。

## IV 選定方法

選定は、「和歌山県データを利活用した公募型研究事業者選定委員会」が行う。

選定委員会は審査項目に基づき、研究提案書等に基づく書面審査及び必要に応じてプレゼンテーションによる審査を実施し、競争性・透明性の確保に十分に配慮しながら、各研究課題について、研究提案の内容、研究実施能力等の最も優れた提案をした者を委託候補者として選定する。

[選定委員会]

開催日 : 6月初旬～中旬

開催場所 : 和歌山市内

(web会議による参加も可)

## 【お問い合わせ先】

和歌山県データ利活用推進センター

電話 : 073-488-2430 e-mail : e0201001@pref.wakayama.lg.jp

URL : <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/data/index.html>

